

戦地へ立つ日

シベリア送り

ラーゲリへ

ああ黒パン

暗さが最も増す時

人びとは星を見る

吐く息も凍る

つらい労働

ウクライナ娘

帰国の日

春休み
企画

シベリア抑留 ものがたり

アニメとマンガでたどる戦争

- ▶ アニメ上映『シベリア抑留ものがたり』
- ▶ 特別展示 マンガでみる兵士・抑留者・引揚者

2023年

3月7日(火) - 4月2日(日)

会場: 平和祈念展示資料館 展示室、ビデオシアター

開館時間 ▶ 9:30 ~ 17:30 (入館は17:00まで) 休館日 ▶ 毎週月曜日

平和祈念展示資料館 (総務省委託)

入館無料



春休み企画

シベリア抑留 ものがたり

アニメとマンガでたどる戦争

齋藤邦雄さん(1920-2013年)は、兵士として中国で約5年間の軍隊生活を送った後、戦後にシベリアで約3年間の抑留生活を強いられました。帰国後はマンガ家となり、コトバだけでは伝えにくい戦争や抑留を、分かりやすいマンガにしました。齋藤さんはこう語っていました。戦争の体験を子どもに伝えられる紙しばいのようなものを作りたかった…。

この春、齋藤さんの想いを受けとめたアニメ作品『シベリア抑留ものがたり』が完成しました。これは、終戦後にシベリアに抑留され家に帰るまでの8年間を描いた、紙しばいのようなアニメ作品です。

この作品の完成を記念して、アニメ上映と、兵士・抑留者・引揚者の体験をより理解できる特別展示を開催します。

アニメ上映(約20分)

『シベリア抑留ものがたり』

各日10:00、11:00、12:00、13:00、14:00、15:00、16:00にビデオシアターで上映します。

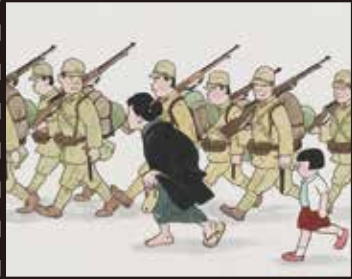
◎齋藤邦雄さんの証言映像(約20分)も同時上映します。

※上映プログラムは変更になる日がございますので、詳細はホームページをご覧ください。

特別展示

マンガでみる 兵士・抑留者・引揚者

展示室の各所で齋藤さんが描いたマンガを紹介いたします。常設資料とあわせてご覧ください。



平和祈念展示資料館(総務省委託)

東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階

Tel: 03-5323-8709 <https://www.heiwakinen.go.jp>



▶都営大江戸線(都庁前)駅A6出口より徒歩約1分 ▶東京メトロ丸ノ内線(西新宿)駅より徒歩約5分
▶JR線、小田急線、京王線(新宿)駅西口より徒歩約10分

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、状況により臨時休館や開催期間変更となる場合があります。ご来館の前にホームページ等での確認をお願いいたします。

